

第1回 SICE ポストコロナ未来社会ワークショップ
「パンデミックとシステム・制御・ネットワーク理論」

主催：計測自動制御学会 (SICE)
企画：SICE ポストコロナ未来社会 WG
協賛：システムイノベーションセンター (SIC)
IEICE 信号処理研究専門委員会 (SIP)
IEICE 高信頼制御通信研究会(RCC)
システム制御情報学会
横幹連合 (依頼中)

コロナウイルス感染拡大にともなう緊急事態宣言のもと、社会や経済が大きな打撃を受けています。このような未曾有の事態における正しい意思決定とはなにか。我々研究者はこの事態にどのように貢献できるのか。そのような問題意識のもと、SICE ポストコロナ未来社会ワーキンググループでは緊急ワークショップとして、感染拡大に関わるシステム、制御、およびネットワークの専門家による講演とパネルディスカッションを企画しました。感染拡大の抑制には、感染の数理モデリング、シミュレーション、制御、評価が重要であり、これはまさに SICE の得意とするシステム思考の方法論です。ぜひ積極的な参加をお願いします。

日時：6月6日(土) (13:00~17:00)

ワークショップの形式：Zoom によるオンライン開催
接続方法は開催日前日までに申込者の方にメールにてご案内する予定です。
また、Zoom をご利用できない方もご視聴いただける方法を検討中です。

参加費：無料 (SICE および協賛団体の会員限定)

参加登録：下記ページよりご登録ください

https://postcorona-sice.github.io/ws2020_1.html

講演者 (敬称略)

特別講演

木村英紀 (システムイノベーションセンター理事・副センター長, 東京大学名誉教授)

招待講演

津村幸治 (東京大学), 小蔵正輝 (大阪大学), 田中雄一 (東京農工大学),

堀豊 (慶應義塾大学), 永原正章 (北九州市立大学)

プログラム：

13:00～13:10 開会の挨拶: 小野晃 (SICE 会長, 産総研)

13:10～13:50

(特別講演) 感染制御の政策課題, 木村英紀 (システムイノベーションセンター理事・副センター長, 東京大学名誉教授)

13:50～14:10

ネットワーク制御の手法に基づく感染抑制の課題について, 津村幸治 (東京大学)

14:10～14:30 感染症の人口動態モデルとその不確かさ, 堀豊 (慶應義塾大学)

(10分休憩)

14:40～15:00

ネットワーク上の信号処理とグラフサンプリング定理, 田中雄一 (東京農工大学)

15:00～15:20

社会的距離戦略の数理: ネットワーク科学の観点から, 小蔵正輝 (大阪大学)

15:20～15:40

COVID-19 に関わる制御理論の最近の動向, 永原正章 (北九州市立大学)

(10分休憩)

15:50～17:00 パネルディスカッション

司会: 藤田政之 (WG 主査, 東京大学)

パネラー: 小野晃 (SICE 会長, 産総研), 木村英紀 (SICE), 津村幸治 (東大), 小蔵正輝 (阪大), 田中雄一 (東京農工大), 堀豊 (慶應大), 船田陸 (UT Austin), 永原正章 (北九大)

お問い合わせ先: 永原正章 (WG 幹事, 北九州市立大学), nagahara@ieee.org